

## ■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下の  
ような意味があります。

**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者が  
死亡又は重傷を負う危険が想定さ  
れます。冒頭にまとめて記載して  
いますので必ずお読みください。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者が  
中程度の傷害・軽傷を負う危険又  
は物的損害の発生が想定されます。  
冒頭にまとめて記載していますの  
で必ずお読みください。

## ▲警 告

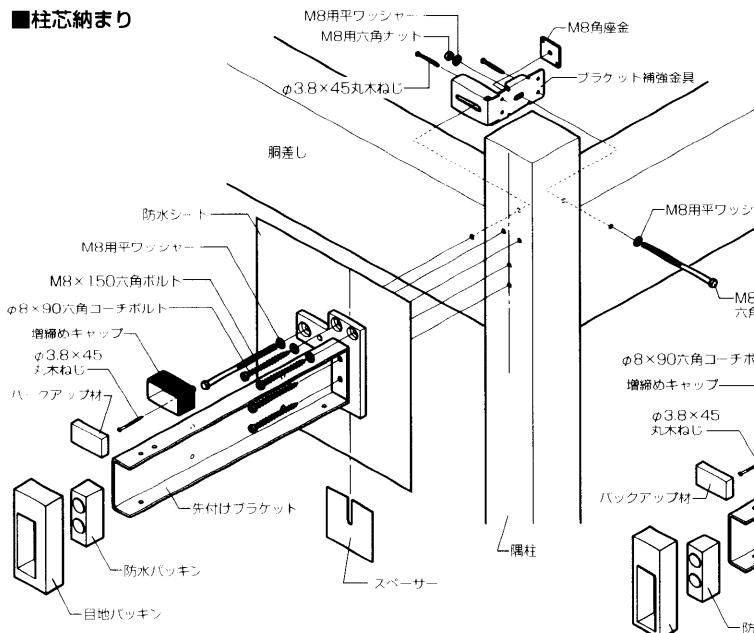
- 本体落下の原因になるおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
- ・当製品は木造躯体に取付ける構造になっています。取付け前に必ず躯体条件  
を確認してください。（P.2参照）
- ・先付けブラケットは外壁下地工事前に躯体に取り付けてください。
- ・ボルト・コーチボルトの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでくだ  
さい。
- ・必ず指定の取付けねじ・ボルト類で固定してください。

## ▲注 意

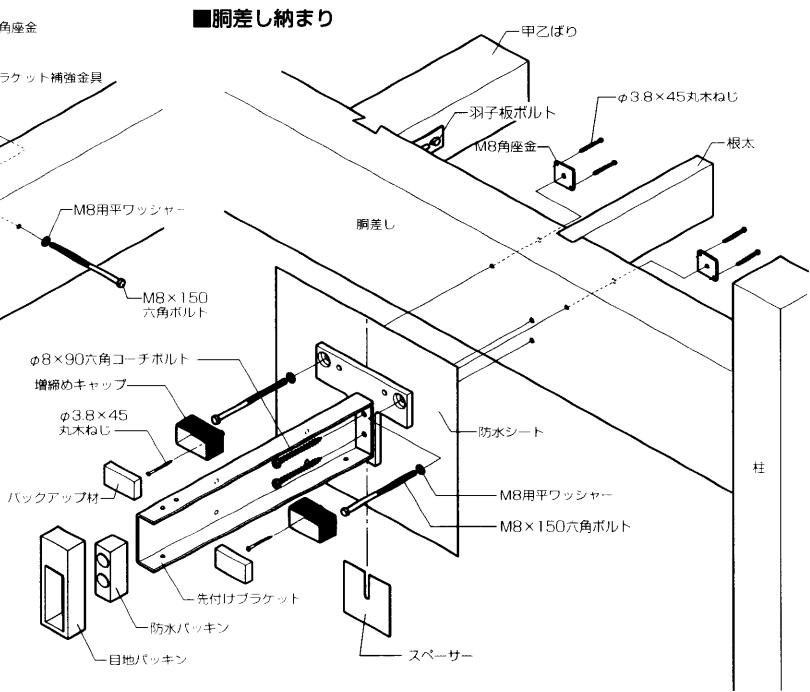
- 漏水のおそれがありますので、下記項目を厳守してしてください。
- ・シーリング指定箇所には、必ずシーリング材を充てんしてください。
- ・サッシの下に先付けブラケットを取付ける場合は、必ずサッシ枠まわりの防  
水テープ工事後にブラケットを取り付けてください。（P.5参照）

## ■構造説明図

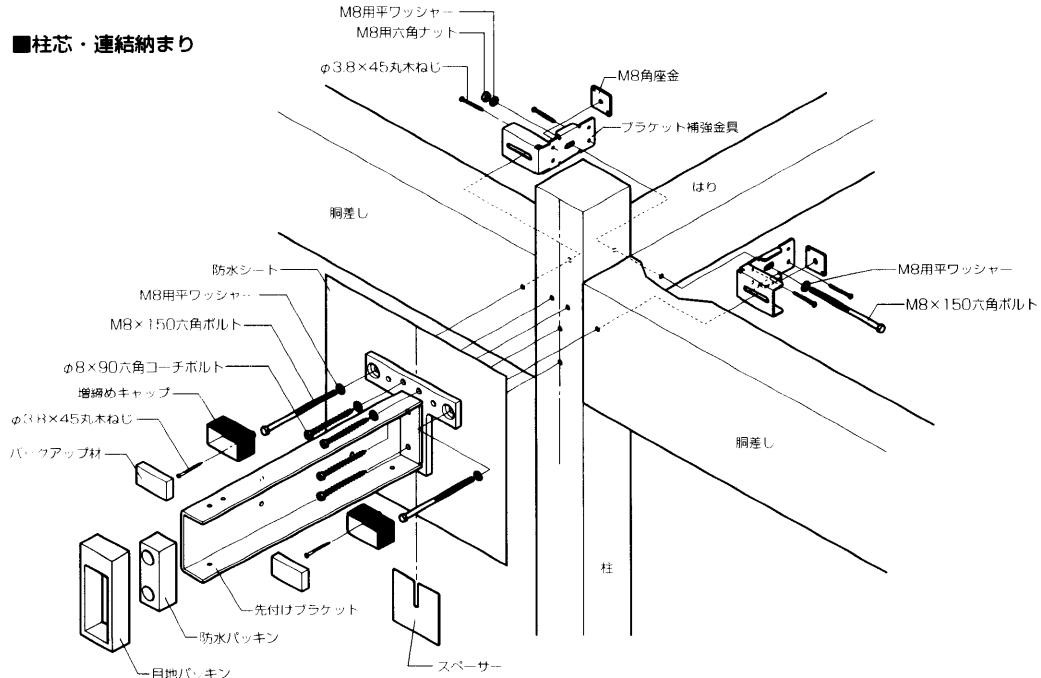
## ■柱芯納まり



## ■胴差し納まり

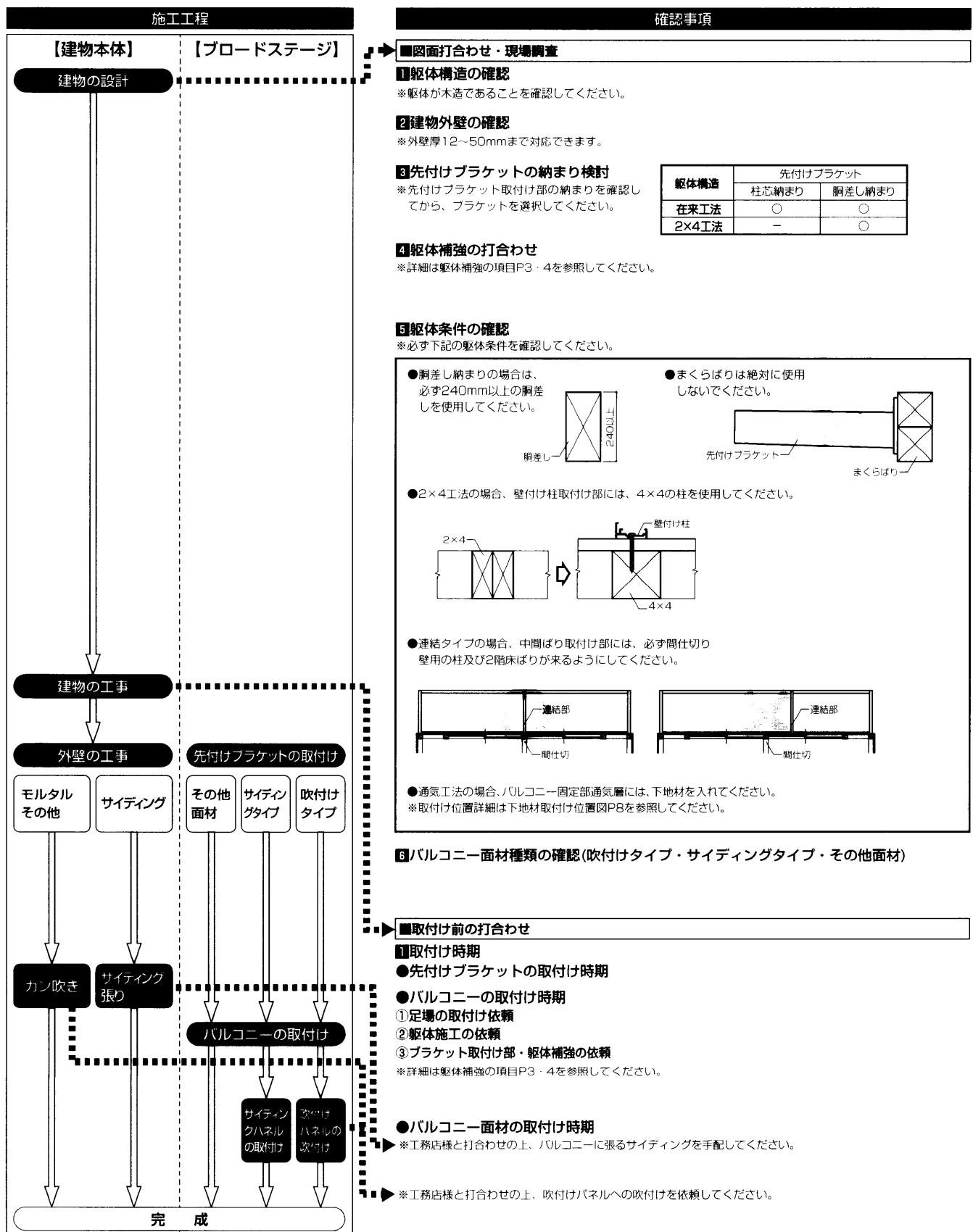


## ■柱芯・連結納まり



## ■施工上のお願い

- 先付けプラケットは、足場として使用しないでください。
- 外壁工事の際、先付けプラケットにモルタル等が付着しないようにしてください。

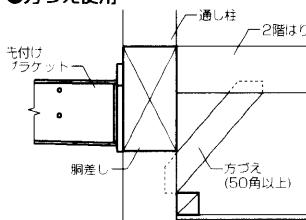


## ■躯体の補強(在来工法)

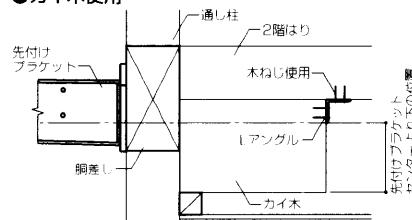
■柱芯納まり ●在来工法の躯体に先付けプラケット(柱芯用)を取付ける場合は、下図を参考に必ず柱を補強してください。

### [通し柱の場合の補強]

#### ●方づえ使用



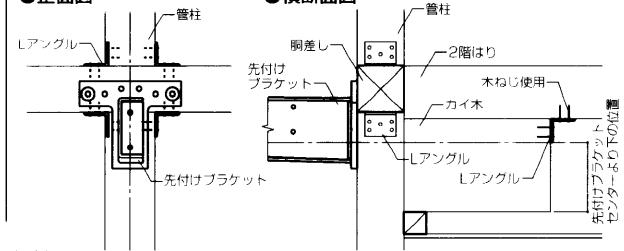
#### ●カイ木使用



### [管柱の場合の補強]

#### ●正面図

#### ●横断面図

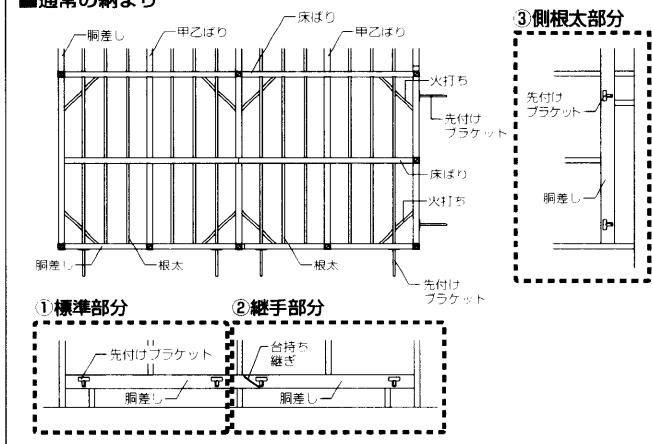


\*柱芯プラケットで胴差し(躯体)に取り付ける場合は、胴差し納まりの躯体条件を守り、躯体を補強してください。

■胴差し納まり ●在来工法の躯体に先付けプラケット(胴差し用)を取付ける場合は、下図を参考に必ず胴差しを補強してください。

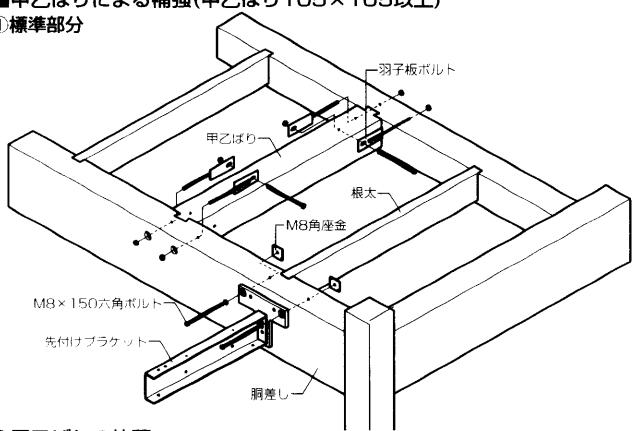
\*取付け面によって補強方法が異なりますので確認してください。

### ■通常の納まり



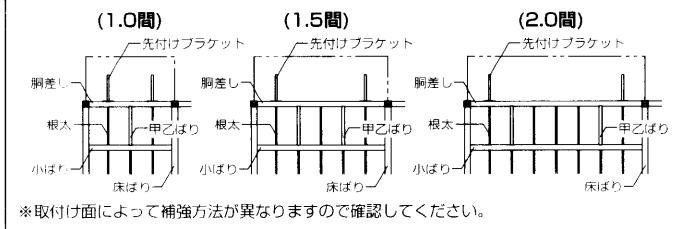
### ■甲乙ばかりによる補強(甲乙ばかり 105×105以上)

#### ① 標準部分



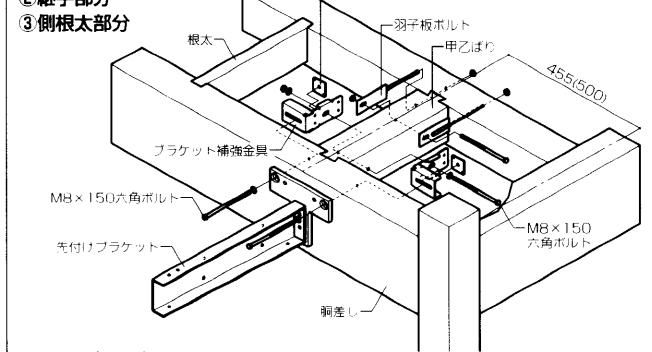
#### ●甲乙ばかりの位置

##### ① 標準部分



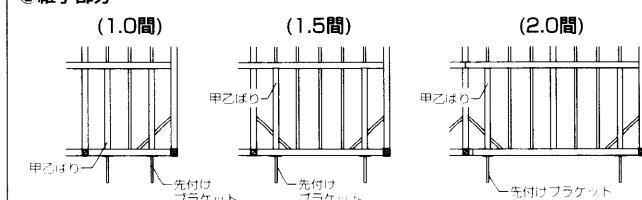
### ■甲乙ばかりによる補強

#### ② 継手部分

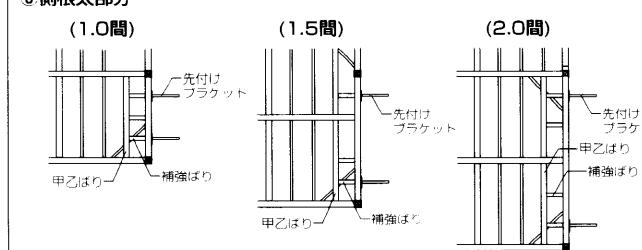


#### ●甲乙ばかりの位置

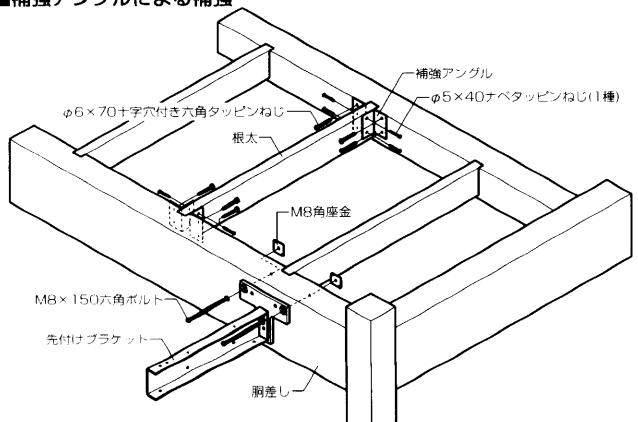
##### ② 継手部分



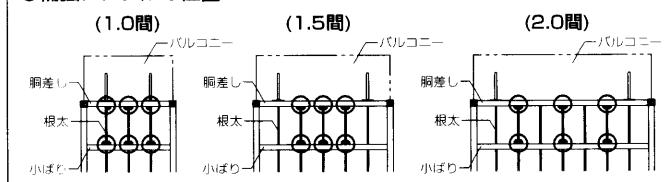
#### ③ 側根太部分



### ■補強アングルによる補強



#### ●補強アングルの位置



## ■躯体の補強(2×4工法)

**■胴差し納まり** ●2×4工法の躯体に取付ける場合は、下図を参考に躯体を補強してください。  
※取付け面によって補強方法が異なりますので確認してください。

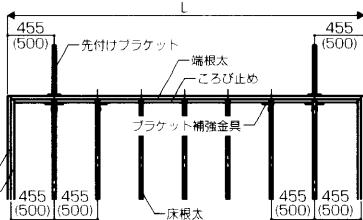
### 【端根太側】

●先付けブラケット直近の床根太(2本)を利用して、ブラケット補強金具で補強してください。

※詳細は、**■先付けブラケットの取付け**を参照してください。

※胴差し補強金具(2×4)セットは別売りです。

(WXCZ024)

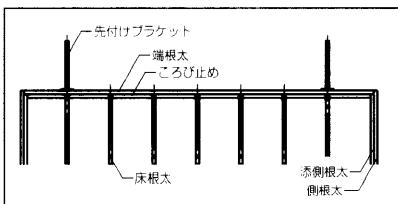


### 【参考補強法(端根太側)】

●端根太側のみ、次の方法でも補強ができます。

通常の床合板(910×1820)とスペーサーにかわって、特寸法の床合板を使用し、床合板と端根太を釘止めして補強します。

※この場合、ブラケット補強金具は必要ありません。



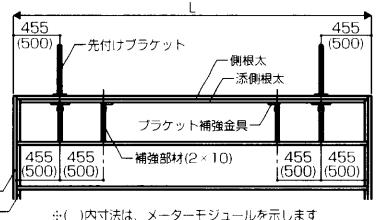
### 【側根太側】

●右図の□部分の位置に、あらかじめ2×10の補強部材を入れておき、さらに2×4用補強アングルで補強してください。

※詳細は、**■先付けブラケットの取付け**を参照してください。

※胴差し補強金具(2×4)セットは別売りです。

(WXCZ024)



※( )内寸法は、メーターモジュールを示します

### ■取付け手順

#### 1.先付けブラケット取付け位置の決め方

●外壁仕上げ後では、取付け位置の変更ができません。

下図に従って正確な位置を決めてください。

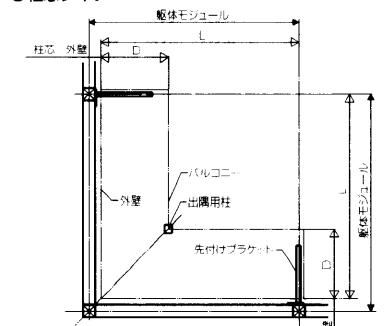
※P 9~10の納まり図を参照してください。

※( )内寸法は、メーターモジュールを示します。

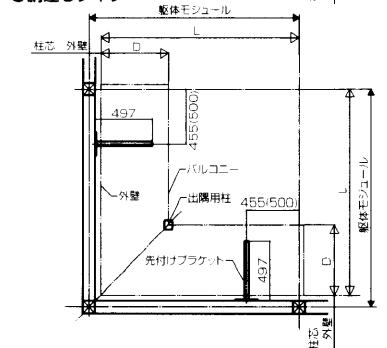
長さ	L(製品寸法)		
	関東間	関西間	九州・四国間
単体 1.0間	1820	2035	1910
1.5間	2730	2990	2865
2.0間	3640	3945	3820
連棟 2.5間	4550	5025	4775
3.0間	5460	5980	5730
3.5間	6370	6935	6685
4.0間	7280	7890	7640
出幅 D寸法			
2 尺	585		
3 尺	885		
4 尺	1185		

### 【入隅納まり】

#### ●柱芯タイプ

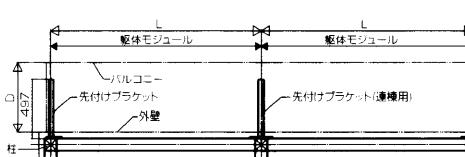
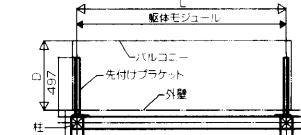


#### ●胴差しタイプ

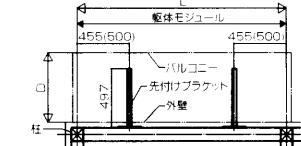


### 【標準納まり】

#### ●柱芯タイプ

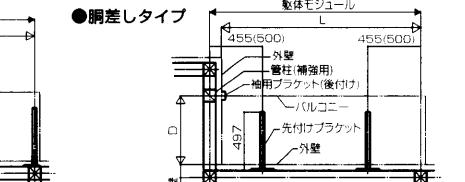
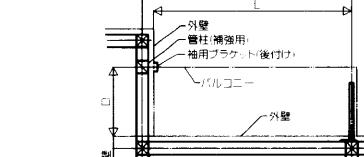


#### ●胴差しタイプ

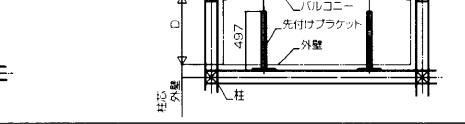


#### ●片袖納まり

#### ●柱芯タイプ

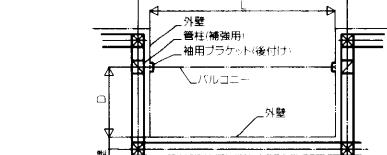


#### ●胴差しタイプ

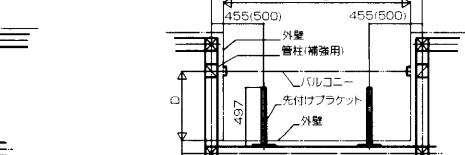


### 【両袖納まり】

#### ●柱芯タイプ

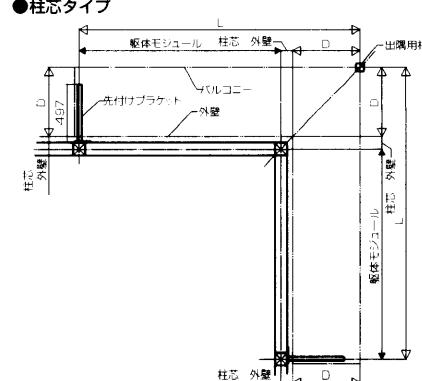


#### ●胴差しタイプ

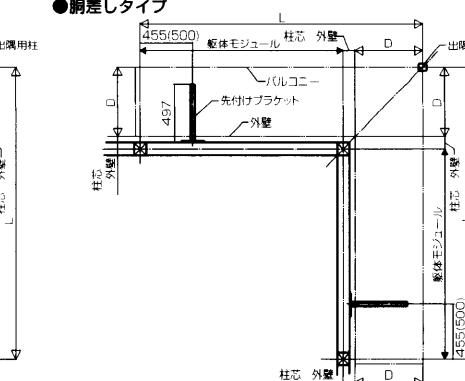


### 【出隅納まり】

#### ●柱芯タイプ



#### ●胴差しタイプ

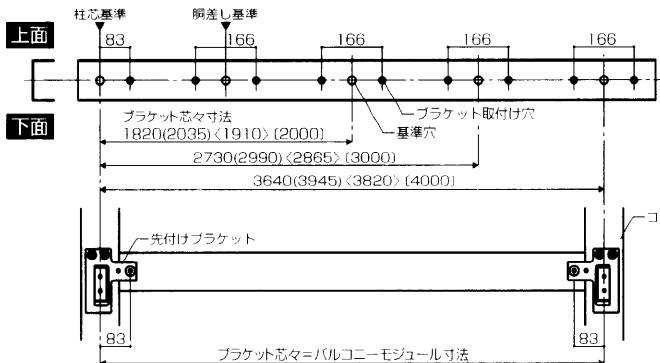


## ■取付け手順

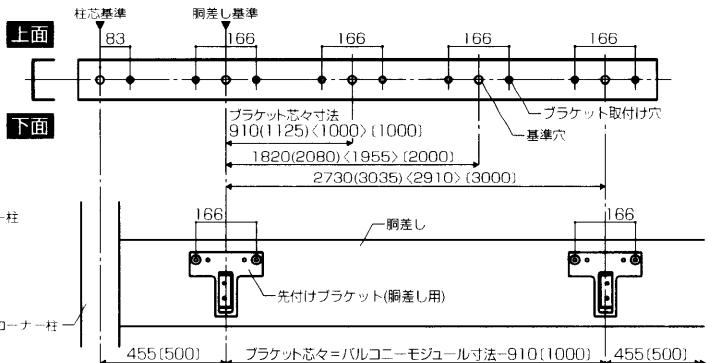
### ②先付けブラケット取付け用治具(ブラケット取付けゲージ)の使用方法

- ブラケット取付けゲージの基準穴○をバルコニーモジュール寸法に合わせ、必要な位置にブラケット取付け穴(φ9貫通穴)をあけてください。
- ※ブラケット取付けゲージは別売りです。(関東専用WXCZ026・関西専用WXCZ027・九州四国専用WXCZ028・メーターモジュールWXCZ029)

### ■柱芯納まり



### ■胴差し納まり



### ③先付けブラケットの取付け(在来工法)

#### ■ブラケットとサッシまわりの防水方法

##### [先張り防水シートがある場合]

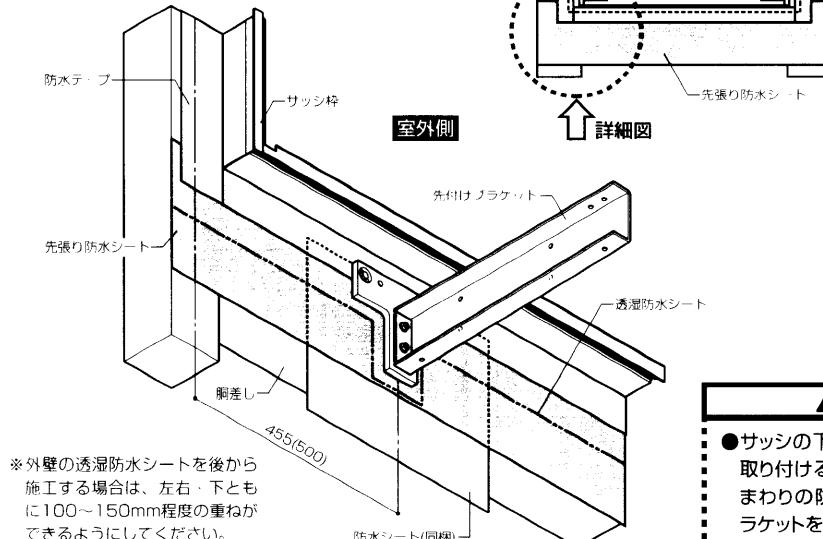
※サッシ枠(屋外側)の釘打ちフジ部分の防水処理後に先付けブラケットを取り付けてください。

※先付けブラケット取付け部にすでに外壁の透湿防水シートが施工されている場合は、同枠の防水シートは、使用しないでください。

①防水シート(同枠)をサッシ枠の先張り防水シートの下に差し込みます。

②先付けブラケットを、サッシ枠の先張り防水シートの上から固定します。

※先付けブラケットを取付ける際は、施工済みの透湿防水シートにしわをよせたり破いたりしないようにしてください。



※外壁の透湿防水シートを後から施工する場合は、左右・下ともに100~150mm程度の重ねができるようにしてください。

### ■柱芯納まり

- ①ブラケット取付け位置を墨出しし、ブラケットをM8×150六角ボルトで固定します。

※裏側にはブラケット補強金具を取り付けます。

#### ▲警告

- ボルト・コーチボルトの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

#### ●下穴ドリル径一覧

MBx150六角ボルト	φ9貫通穴
φ8×90六角コーチボルト	φ6.5穴 (深さ50mm以下)

②ブラケットに合わせて残りの下穴(φ6.5・深さ50mm)をあけ、8×90六角コーチボルトで固定します。

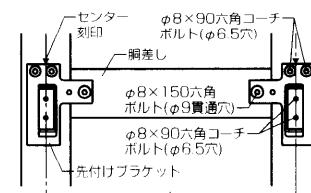
③ブラケット補強金具と裏側のはりをM8×150六角ボルト・M8ナットで固定します。

④増締めキャップ(点検口)をφ3.8×45丸木ねじで軸体に固定しバックアップ材を入れます。

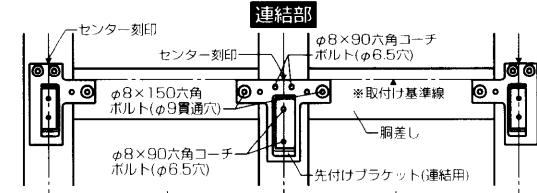
※スペーサーはレベル調整に使用してください。

※先付けブラケットは内観視です。左右を間違えないよう確認してください。ただし、連結用ブラケットに左右はありません。

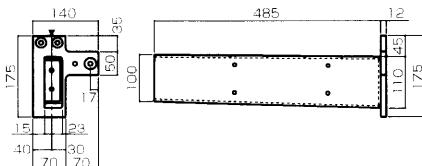
### ■単体



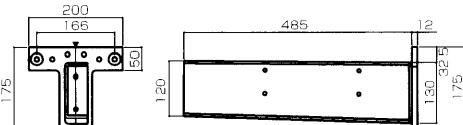
### ■連結



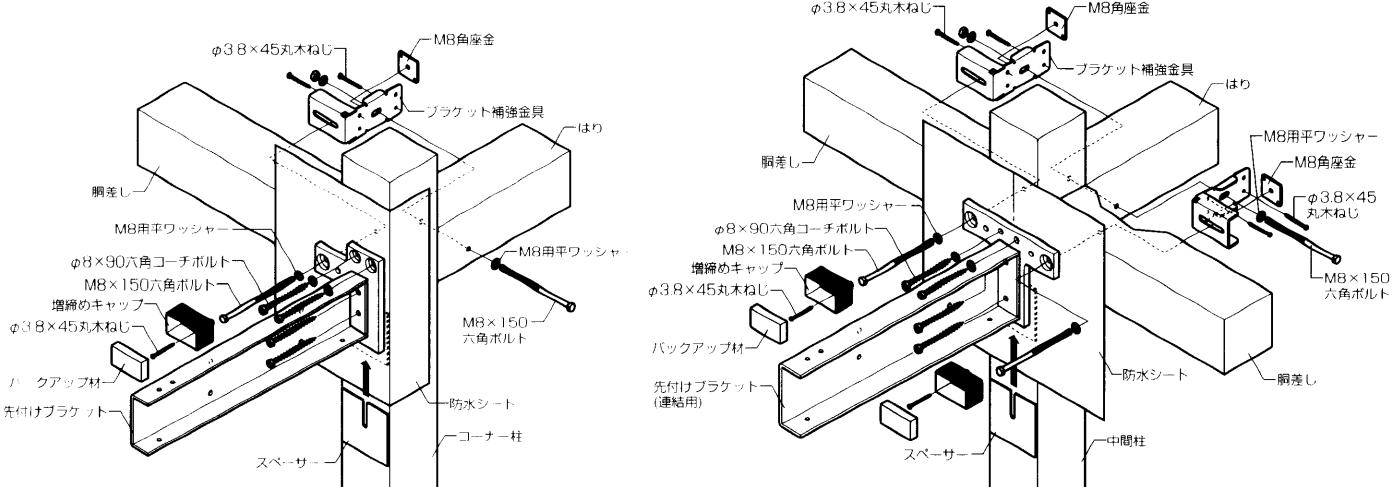
#### ●先付けブラケット



#### ●先付けブラケット(連結用)



## ■取付け手順



## ■洞差し納まり

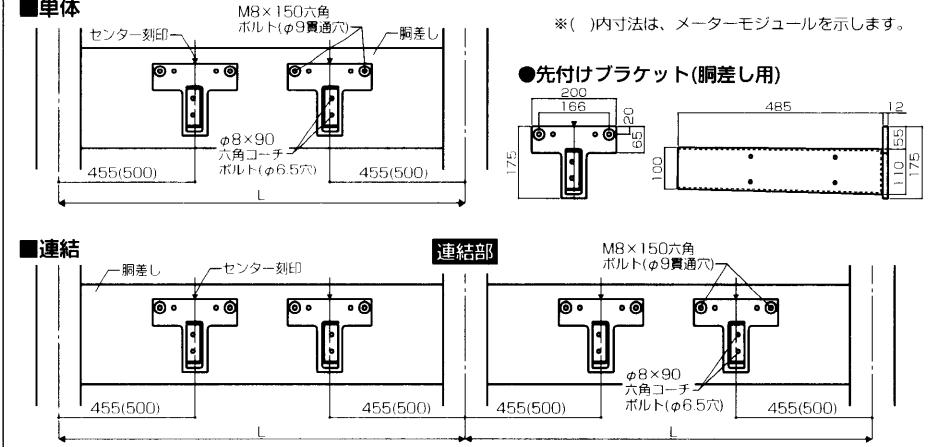
### ●標準部分への取付け

- ① ブラケット取付け位置を墨出しし、ブラケットをM8×150六角ボルト・M8角座金で固定します。
- ② ブラケットに合わせて残りの下穴(Φ6.5・深さ50mm)をあけ、Φ8×90六角コチボルトで固定します。
- ③ 増締めキャップ(点検口)をΦ3.8×45丸木ねじで軸体に固定し、バックアップ材を入れます。
- ※先付けブラケットは内観視です。左右を間違えないよう確認してください。
- ※スペーサーは、レベル調整に使用してください。
- ※M8角座金は、増締め時の回転防止のため、必ずねじ止めしてください。

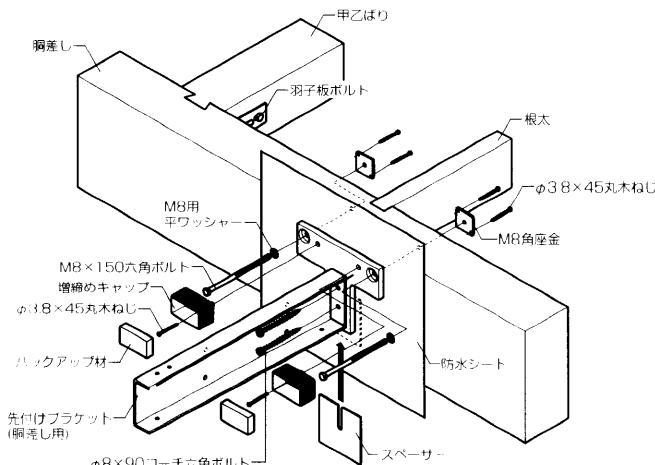
### ●継手・側根太部分への取付け

- ① ブラケット取付け位置を墨出しし、ブラケットをM8×150六角ボルト・ブラケット補強金具・M8角座金で固定します。
- ※甲乙ばかりにΦ9貫通穴をあけ、ブラケット補強金具同士をM8×150六角ボルト・M8ナットで固定してください。

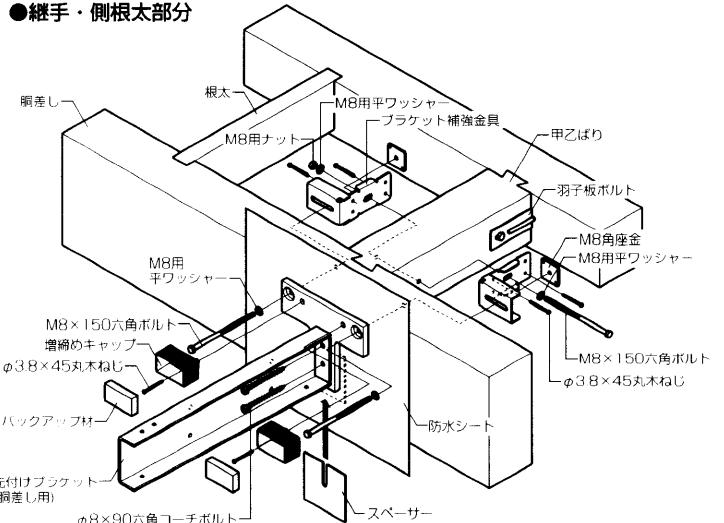
## ■単体



## ●標準部分

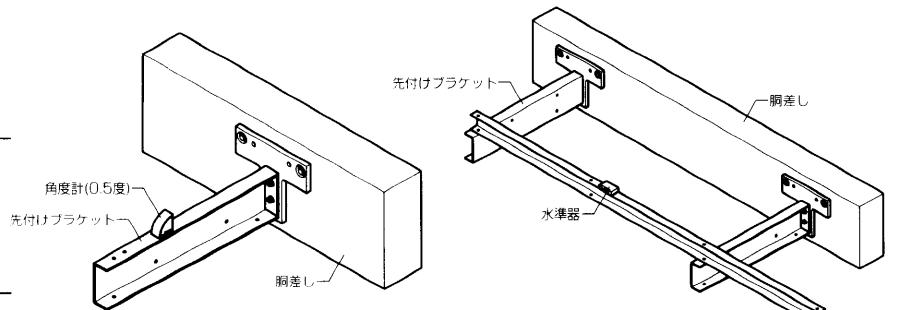
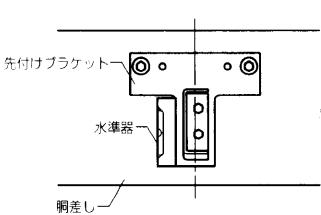


## ●継手・側根太部分



## ■レベル調整

※先付けブラケットは、先端が5mm上向きに製作されています。取付けの際に、角度測定器等で先端が5mm(0.5度)上向きになるよう調節してください。



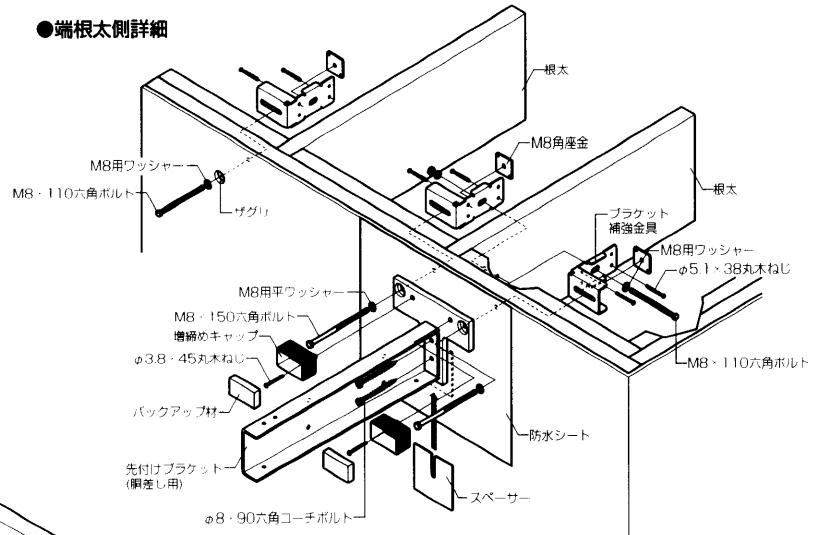
### ■取付け手順

#### 4先付けブラケットの取付け(2×4工法)

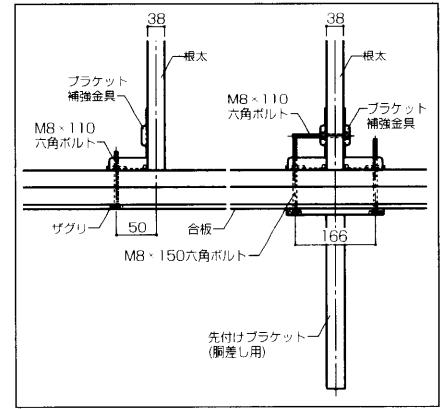
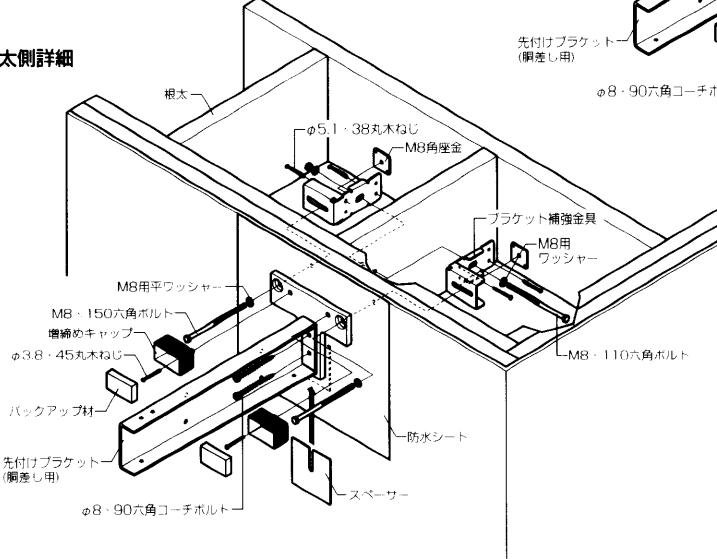
##### ●洞差し納まり

- ①ブラケット取付け位置を墨出しし、ブラケットをM8×150六角ボルト・ブラケット補強金具・M8角座金で固定します。  
※根太(2×10)にφ9貫通穴をあけ、ブラケット補強金具同士をM8×110六角ボルト・M8ナットで固定してください。  
※端根太側の場合は、ブラケット直近の根太にブラケット補強金具を取り付け、軸体を補強してください。  
ブラケット側の補強金具と同じ高さに合わせ、M8×110六角ボルト・M8角座金で固定します。六角ボルトの頭が外壁仕上げに影響しないよう、合板にザグリを入れてボルトの頭を隠してください。  
※ブラケットとサッシまわりの防水方法については、在来工法を参照してください。

##### ●端根太側詳細



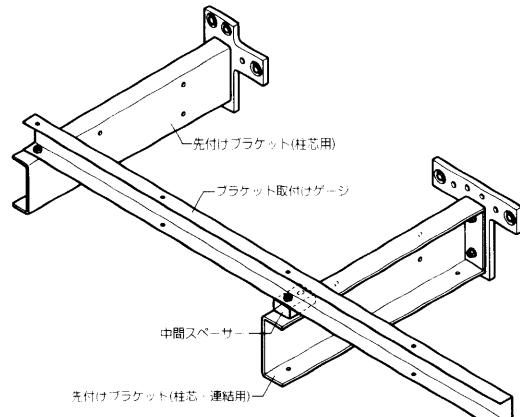
##### ●側根太側詳細



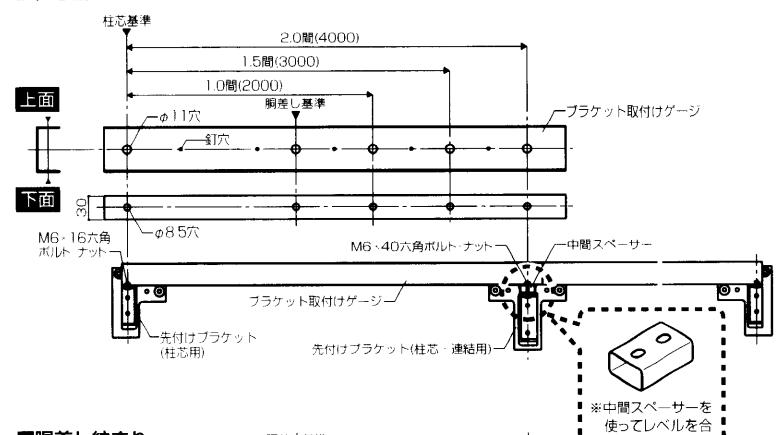
#### 5先付けブラケットとブラケット取付けゲージの固定

- 先付けブラケットの水平・垂直を正しく保つため、下図の要領でブラケット取付けゲージを取り付けます。

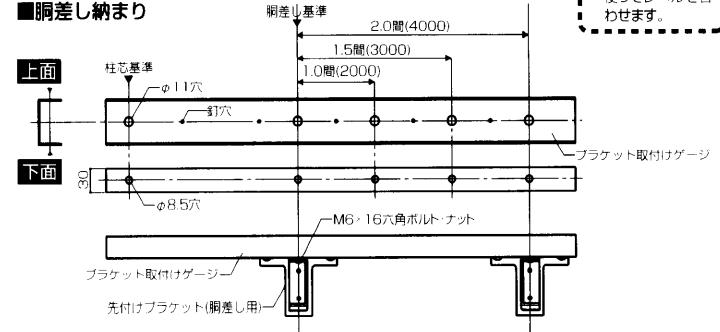
※ブラケット取付けゲージは、外壁仕上げが完了するまで取り外さないでください。



##### ●柱芯納まり



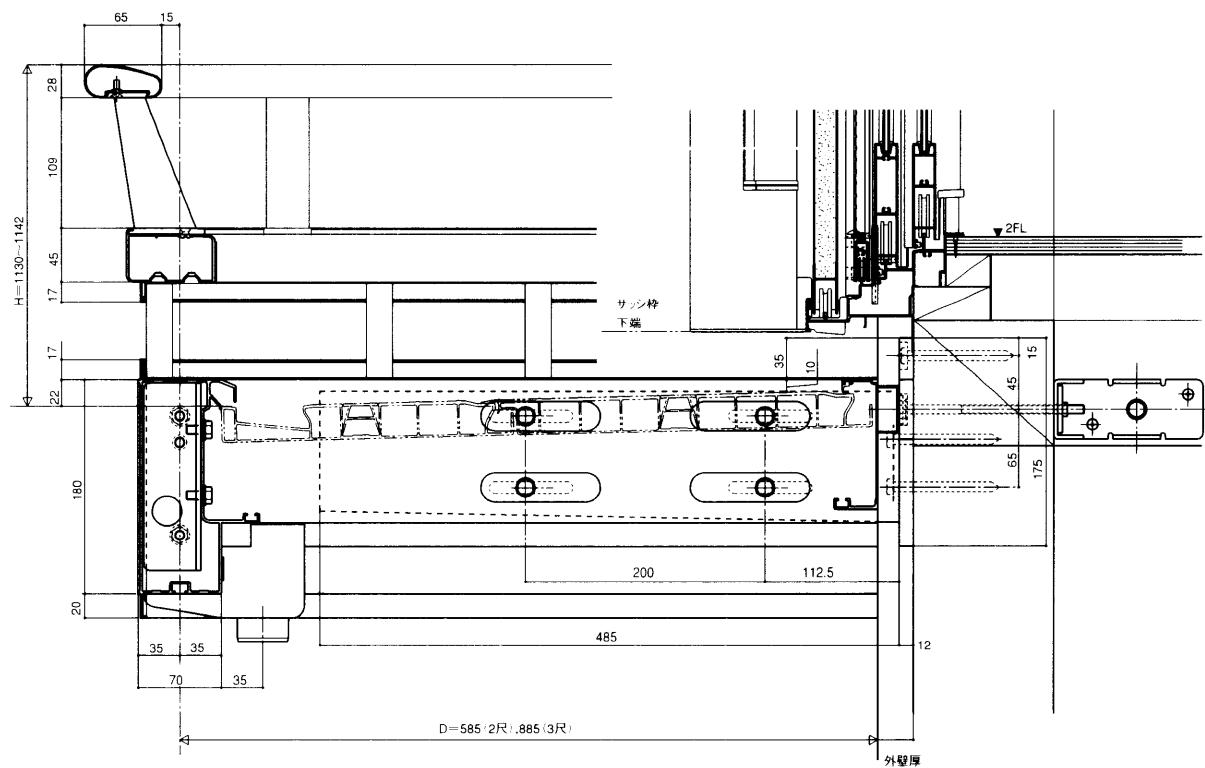
##### ●洞差し納まり



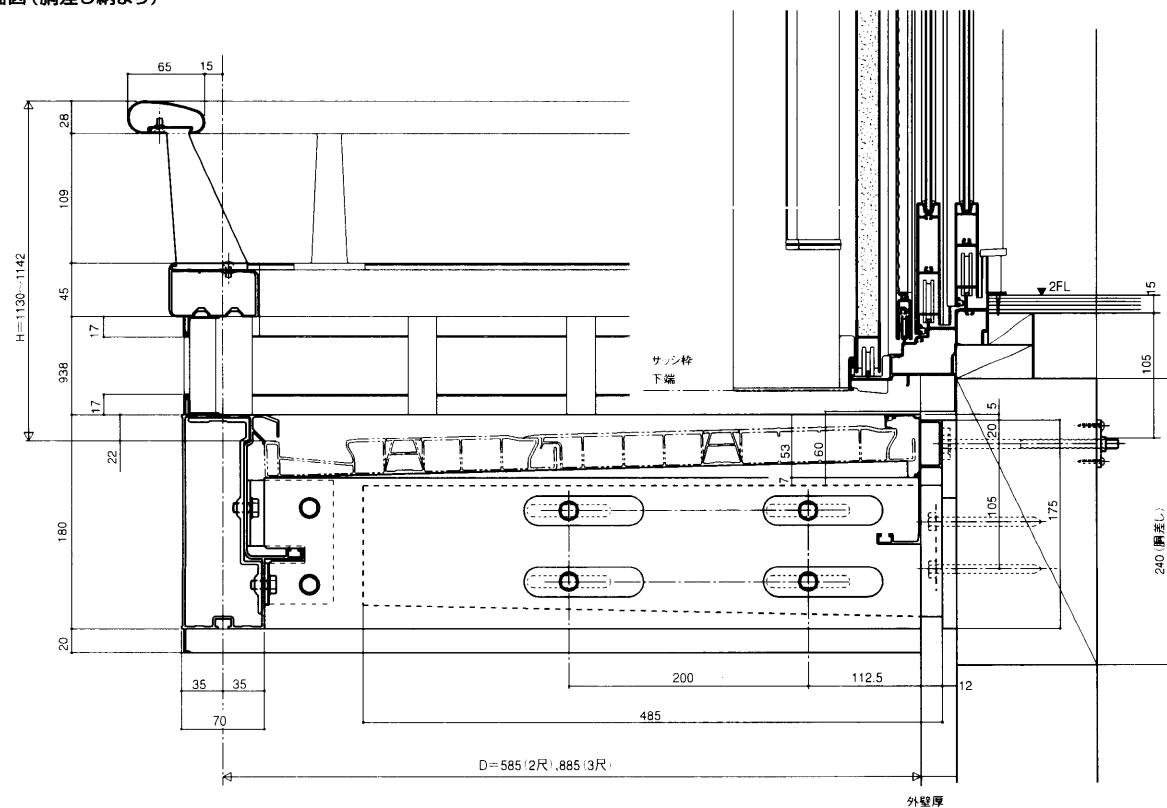


■基本断面図

■縦断面図(柱芯納まり)

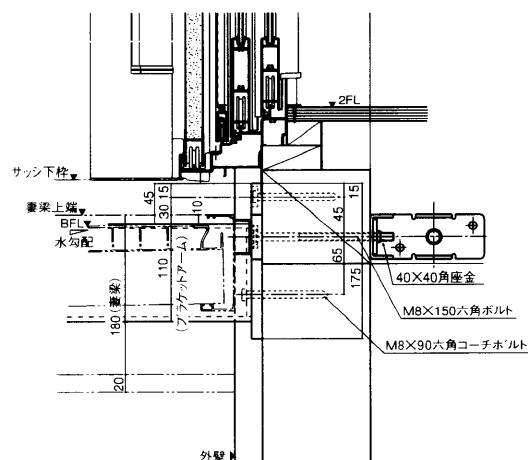
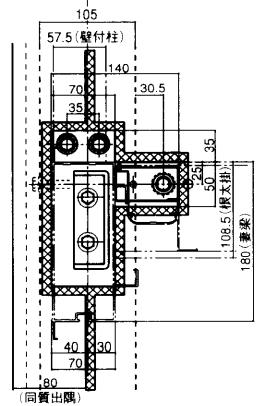


■縦断面図(胴差し納まり)

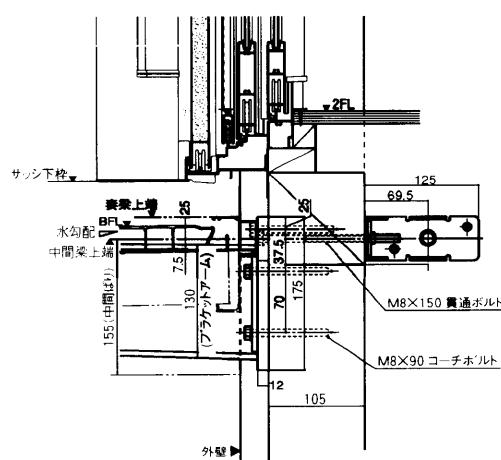
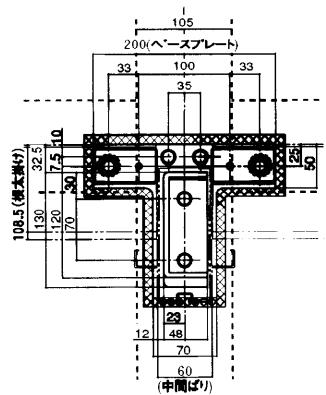


■基本断面図

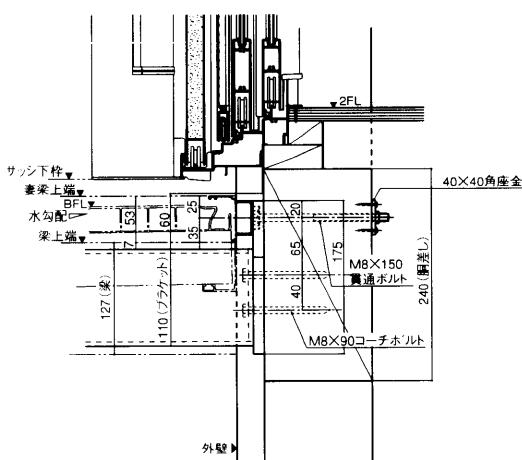
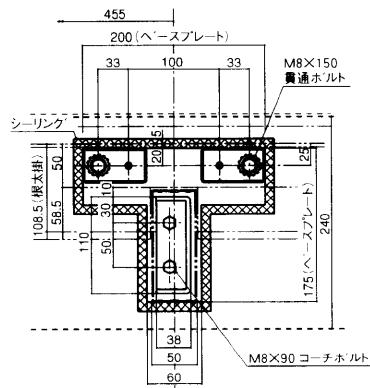
■先付けブラケット納まり図  
(在来工法・柱芯納まり)



(在来工法・柱芯連結納まり)



(在来工法・胴差し納まり)



(2×4工法・胴差し納まり)

